

兵庫県加古川市方言における格配列

－能格性・分裂自動詞性の検証を中心に－

2020（令和 2）年 4 月入学
言語学・応用言語学専門分野
井坂 春菜
2024（令和 6）年 1 月提出

要旨

本論文の目的は、兵庫県加古川市方言における他動詞文の主語（A 項）と自動詞文の主語（S 項）、他動詞文の目的語（P 項）で見られるガ格ヲ格の格標示とハダカ（無標示）の対立がどのような体系を持っているのかを検証し、記述することである。文焦点・WH 応答焦点・対比焦点の 3 種に焦点を分類し、方言話者へのアンケート調査と面接調査、電話調査を以て検証した。

結果として加古川市方言では脱主題化がガ格の、焦点タイプがヲ格の標示に関わっていることが分かった。格体系としては、分裂自動詞「性」のような傾向としての体系は見られたが、格標示の容認度がどちらかが義務化されているかどちらも等しく自然な場合に見られる「型」は見られなかったため、この二つの格体系の性質については分けて考えるべきであるという立場をとる。本論文では、このような傾向について加古川市方言における脱主題化と焦点タイプの関係について論じていく。

目次

1. はじめに.....	1
1.1 対象とする言語	1
1.2 対象とする現象	1
2. 先行研究.....	2
2.1 Nakagawa (2013)	2
2.2 Nakagawa (2013) の問題点	4
2.2.1. 分析上の問題.....	4
2.2.2. 方法論上の問題.....	6
3. 本研究の目的.....	6
4. 調査方法.....	7
4.1 調査協力者	7
4.2 アンケート調査	8
4.3 面接調査.....	8
4.4 電話調査.....	8
5. 調査結果.....	8
5.1 文焦点.....	10
5.1.1 文焦点 A 項・P 項.....	10
5.1.2 文焦点 S _A 項.....	10
5.1.3 文焦点 S _P 項.....	12
5.2 WH 応答焦点.....	13
5.2.1 WH 応答焦点 A 項・P 項.....	13
5.2.2 WH 応答焦点 S _A 項.....	13
5.2.3 WH 応答焦点 S _P 項.....	14
5.3 対比焦点.....	14
5.3.1 対比焦点 A・P.....	14
5.3.2 対比焦点 S _A 項.....	14
5.3.3 対比焦点 S _P 項	15
6. 調査結果の考察.....	15
7. 結論	15
文献.....	18
謝辞.....	19

1. はじめに

1.1 対象とする言語

本論文で扱う兵庫県加古川市方言（以下、加古川市方言）は、兵庫県加古川市で話される方言である。兵庫県内には但馬方言、丹波方言、摂津方言、淡路方言、播磨方言の五つの方言区画があり、加古川市方言はこのうち播磨方言に属する。



出典：https://map-it.azurewebsites.net, Map-It マップサイト | 地図素材サイト

1.2 対象とする現象

本論文では関西方言の一つである加古川市方言において、他動詞文の主語（以下、A 項）と自動詞文の主語（以下、S 項）に続く格助詞ガ（以下、ガ格）、及び、他動詞文の直接目的語（以下、P 項）に続く格助詞ヲ（以下、ヲ格）の出没について記述を行う。

日本語標準語（以下、標準語）において、A 項と S 項にはガ格が用いられ、P 項にはヲ格が用いられるというように、対格型の格体系を持つということが定説とされている（角田 2009）。しかし、これは文語における格標示であり、口語ではヲ格が省かれ、どの格助詞も取らないハダカと言われる形を持つほうが自然であるとされる場合が多く見られる（下地 2019 等）。例えば、以下のようなものがそれに該当する。なお、以降例文内に表れるハダカは「Ø」として標示する。また、特に引用の記載が無い場合には例文は筆者が作成した。

(1) ねえ、見て。犬が猫 Ø 追いかけてるよ。

加古川市方言を含む関西方言全体においても標準語の口語と同様に有標識とハダカの使い分けが見られる。しかしその使い方には違いが見られ、ハダカを取る範囲が標準語の口語よりも広いとされている（下地 2019、竹内・松丸 2019, 2022 等）。すなわち、標準語の口語の場合には P 項のハダカが目立つ一方で S_A 項のハダカはそれよりは認めにくいのに対し（下地 2019）、関西方言では標準語よりも S 項のハダカが容認されやすい。

(2) Q: なにが起きたん？

A: 財布 {?ガ/Ø} 落ちてん。（Nakagawa 2013:12）

そこで本研究では、加古川市方言の口語においての、格標示の傾向についての検証を行った。その結果として、焦点ごとに異なる格体系の傾向が見られ、分裂自動詞性があることがわかったが、先行研究である Nakagawa (2013) より関西方言に認められると言われていた能格型は見られなかった。本論文ではその記述を行なっていく。

本論文は 2 章で先行研究として関西方言の格配列を扱った Nakagawa (2013) を紹介し、その問題を提示する。3 章ではそれをもとに本研究ではどのように修正し検証していくかを述べる。4 章では調査方法や話者の紹介を行う。5 章で調査の結果を各焦点と項の対応にまとめて提示し、6 章では 5 章を踏まえた考察を行う。最後に 7 章で加古川市の格体系やその独自性を考察した上で、今後の課題を明示することでまとめる。

2. 先行研究

2.1 Nakagawa (2013)

Nakagawa (2013) は、関西方言には標準語の口語には見られなかった能格型の格体系が見られると主張している。Nakagawa (2013) に基づき、本論文では関西方言には標準語の口語とは異なる格配列があるとひとまず仮定して、果たしてそれが能格型だと言えるのかという点を検証していく。

Nakagawa (2013) は、標準語と関西方言の口語における有標識とハダカの対立について、滋賀県出身で関西の方言話者である著者(中川氏)と標準語話者一名の内省、及び、それぞれの方言を用いた芸人による漫才 15 本ずつ、計 30 本から抽出したコーパスに基づいて検証している。その際、情報構造(焦点構造)の違いによる考察を行っており、本研究でもこの点に絞って検証を行う。

Nakagawa (2013) は、焦点を対比焦点(Contrastive Focus)と非対比焦点(Non-Contrastive Focus)に二分しているが、この用語法には大きな問題があり、以下では正確な用語法で読み替えて議論する。Nakagawa (2013) で扱われる対比焦点には、焦点タイプである対比焦点と焦点ドメインである項焦点(Argument Focus)が混同された形で用いられている。その結果、非対比焦点には文焦点(Sentence-Focus)と焦点ドメインである述語焦点(Predicate-Focus)が含まれている。以下では、言語学で通常用いられる(そして本研究も採用する)対比焦点と Nakagawa の特殊な「対比焦点」との区別をつけるために、Nakagawa (2013) の対比焦点を CF、非対比焦点を N-CF と記述する。標準語においては以下のようなものをそれぞれ指している。なお、以降の Nakagawa (2013)

からの引用例文では、アルファベット表記をひらがな表記に変更した。

N-CF の例：

- (3) A: どこにネズミがいるか知ってる？
B: 猫{ガ/Ø}追いかけてたよ。(Nakagawa 2013:10)

CF の例：

- (4) A: 何がネズミを追いかけてるの？
B: 猫{ガ/Ø}追いかけてるよ。(Nakagawa 2013:11)

上記の二種類の情報構造的な環境について、Nakagawa (2013)は標準語と関西方言の対照を行いながら、A 項、S 項、P 項のそれぞれに表れた名詞句にはどのような格助詞が後続するのかを検証している（表 1, 2）。

表 1. 標準語の分布

	A	S		P
		S _A	S _P	
N-CF	ガ	ガ	Ø/ガ	Ø
CF	ガ	ガ	ガ	ヲ

表 2. 関西方言の分布

	A	S		P
		S _A	S _P	
N-CF	ガ	Ø	Ø	Ø
CF	ガ	ガ	ガ	Ø/ヲ

ガ格とハダカの対立に注目すると、N-CF の名詞句 (Non-Contrastively Focused NPs) は、標準語においては S_A 項と S_P 項の間で格標示に差異が認められる分裂自動詞型 (split-intransitive pattern) を持つ。

(5) S_A 項の例 :

あ 猫-{ガ/??Ø} 歩いてる。(Nakagawa 2013:11)

(6) S_P 項の例 :

あ 財布-{ガ/Ø} 落ちてる。(Nakagawa 2013:11)

分裂自動詞型とは下地 (2019) でも言及されている格配列パターン的一种である。S 項の中でも動詞が動作主的な S_A 項と動詞が被動作主的な S_P 項との明確なグループ分けがなされるもののことを指す。

Nakagawa (2013) では関西方言においては、同じ N-CF 環境でも動作主性による使い分けは見られず、S 項と P 項で同じ格を持つ能格-絶対格型 (ergative/absolutive pattern) を持っていると言っている。

(7) S_A 項の例 :

あ 猫-{?ガ/Ø} 歩いてる。

(8) S_P 項の例 :

Q: 何が起きたん?

A: 財布-{?ガ/Ø} 落ちてん。

一方、CF の場合には、いずれの方言でも同じ主格-対格型 (nominative-accusative pattern) が見られるが、標準語では常に有標識なのに対して、関西方言においては P 項でのみ、ハダカも自然とする点で違いが見られる。

これらの二つの方言における N-CF の名詞句に後続する格助詞の分布に対して Nakagawa (2013) では、どちらの方言においても P 項にあたる名詞句や、P 項のように動作の対象としての役割を持った名詞句 (S_P) は焦点の役割を担いやすく、このことがハダカになりやすい性質に繋がっていると述べている。

2.2 Nakagawa (2013) の問題点

2.2.1. 分析上の問題

表 1, 2 は Nakagawa (2013) のまとめをそのまま引用したものである。この表を見ると、あるセルにガがあれば、それは義務的にガをとるようにみえ、また Ø があれ

ば、それは義務的にハダカになるようにみえる。ところが、この先行研究において例文が示される際、容認性判断に関して「??」と「?」の2種類が用いられている。例えば、以下は実際に Nakagawa (2013) であげられた例文である。

(9) あ 猫-{?ガ/∅} 歩いてる。(Nakagawa 2013:12)

(10) Q: 何が落ちたの?

A: 財布-{ガ/??∅} 落ちたよ。(Nakagawa 2013:13)

これらの例文において、「?」はその格助詞が他方に比べて容認されにくい。対して「??」はその格助詞が認められず、他方のみが認められるとのことである。結局、表 1, 2 のようなカテゴリーカルな区別は恣意的であることを、著者自身が認めていることになる。

この容認性判断を踏まえて、表 1, 2 を本研究筆者が修正したものが以下の表 3, 4 である。ここでは、「(?ガ/∅)」を「∅ 傾向」、「(??ガ/∅)」を「∅」と記載した。「ガ」の表記の違いについても同様に修正を行った。

表 3. 標準語の分布 (筆者修正版)

	A	S		P
		S _A	S _P	
N-CF	ガ	ガ	ガ傾向	∅
CF	ガ	ガ	ガ	ヲ

表 4. 関西方言の分布 (筆者修正版)

	A	S		P
		S _A	S _P	
N-CF	ガ	∅ 傾向	∅ 傾向	∅
CF	ガ	ガ	ガ	∅/ヲ

以後の Nakagawa (2013) への言及は筆者が修正した表 3, 4 に基づく。

さて、このように整理してみると、Nakagawa (2013) の主張には以下の重要な疑問が生

じる。すなわち、関西方言について能格型が成り立つという主張は、著者自身の示した容認性データを元にした表 3, 4 を踏まえると問題があることがわかる。能格型は A vs. S, P という対立を示すわけだから、P が \emptyset である以上、S も徹底して \emptyset でなければならないはずである（そしてこれは表 1, 2 で成り立っているかに見える）。しかし、表 3, 4 をみると、S はむしろ A と P の中間的な性質を示すと言えず、能格型の存立を主張するのはデータに矛盾する。

2.2.2. 方法論上の問題

Nakagawa (2013) で扱われた関西方言の検証では、Nakagawa の内省と漫才の分析の 2 種類の検証方法が採用されたが、各々以下に示す点で更なる検証の余地がある：

1. Nakagawa 本人の内省に基づく滋賀県方言分析を基準に、関西方言全体の検証が行われた
2. 漫才の分析では芸人の出身地が関西の中でもどの地域かが考慮されなかった。また、漫才では舞台芸として発話内容を誤解の少ない形で伝える必要があるため、全国に通用するような関西方言が用いられる（日高 2023）。

この二つの検証方法は、分析対象データを収集する段階で関西方言内での方言ごとの差異が考慮されていない。また、焦点に関しても N-CF と CF で焦点タイプと焦点ドメインという一般言語学では別々の概念（cf. Shimoji 2018）として取り上げられるものを同一種とみなして検証しており、それぞれの内部での差異の可能性は考慮されないままに能格型として分析されている。

3. 本研究の目的

本研究では、関西方言の一種である加古川市方言を対象に、関西方言全般に関して主張されていた能格型の存立について再検証する。その結果、Nakagawa (2013) が主張するような単純なモデルでは関西方言全般についての一般化はできないことを示す。なお、上記の分析上の問題点を改善するため、本研究では話者に対して格標示の有無における容認度調査を行う。すなわち、どちらも容認できる場合や、等しく容認できるわけでは無いが他方も口語として容認できる場合も結果の一部として記録し、格標示の傾向も検証していく。

本論文では格標示が有標識とハダカで明確に使い分けが見られる場合、その格体系は分裂自動詞型のような「型」を持つという。他方、有標式とハダカの使い方に傾向の違いはあるものの、明確な使い分けが見られない場合、その格体系は分裂自動詞性のような傾向としての「性」を持つという。

方法論上の問題点を解決するために、本論文では同じく関西方言の一種である京都市方言の研究を行なった竹内・松丸(2019)を今回の検証の参考としたい。竹内・松丸(2019)では焦点として文焦点、述語焦点、WH 応答焦点、対比焦点の4種を扱っていたが、本研究では述語焦点は除いた3種で検証を行う。述語焦点の場合には主語は常に主題であり、名詞句においても主格標示ではなく主題標示の可否判断となってしまう可能性がある。これは他焦点とは異なったガ格の解釈となるため、本研究では除くこととする。今回検証に使用した焦点は、文焦点、WH 応答焦点、対比焦点の3分類である。3種の焦点はそれぞれ以下のようなものを指す。

- (11) a. そういえば昨日太郎があばれた：文焦点
b. (「誰があばれたの?」の返答として) 太郎があばれた：WH 応答焦点
c. 次郎じゃなくて太郎があばれた：対比焦点

(竹内・松丸 2019:68 を元に筆者修正)

それぞれ下線部が焦点となる。(11-a)の文焦点では、文の修飾部以外の部分全体が焦点となり、かつ、その部分単体で文として成立している。(11-b)のWH 応答焦点と(11-c)の対比焦点は、共に項焦点の下位分類であり、WH 応答焦点は前提が全く無い状態での疑問文への回答、対比焦点はそれまでの前提を覆した上での回答として分類される。

上記2の解決にあたっては、本論文では加古川市方言という限定的な方言の話者に同じ方言を母方言とする筆者が対面調査等を行うことで、より自然な会話の発話環境の中での調査を行う。

4. 調査方法

4.1 調査協力者

まず、言語形成期を加古川市で過ごした人に限定すべく、以下の条件を設定した：

1. 12 歳までの 8 年以上を加古川市で過ごした
2. 現在までで計 12 年以上加古川市に在住経験がある

これに当てはまった 20 代から 50 代までの計 59 名の話者にアンケート調査を行った。

次いで、兵庫県加古川市に住む話者に面接形式と電話形式の二形式で調査を行った。話者は加古川市在住の 21 歳の女性、22 歳の女性、22 歳の男性、54 歳女性の 4 名で、20 代の 3 名はそれぞれ 20 年以上、54 歳女性は幼少期を含む約 45 年の市内居住経験がある。

4.2 アンケート調査

Google Form を使って、話者からアンケート回答を収集した。アンケートは状況と例文が表示され、その例文に対して 7 段階で文の容認度を回答する形式とした。この調査では主に有生性による違いを検証し、この結果をもとに以降の面接調査、電話調査を行った。

4.3 面接調査

アンケート調査を元に、有生性以外の要素が影響を与えていないかを含めて調査を行った。文脈と質問文を提示し、それに対して指定した名詞句と動詞を含んだ文として話者に回答してもらい、回答中の格助詞の標示を記録した。

4.4 電話調査

文脈と、有標識とハダカの二種類の文を筆者が発話することで提示し、どちらがより自然かを選択してもらった。どちらの文でも自然な理解ができる場合には、どちらも自然として記録した。

上記の例文セットは補遺 (appendix) として、論文末尾につけているので、適宜参照されたい。

5. 調査結果

面接調査の調査結果を表 5 に示す。なお、ここで示すそれぞれの焦点は Nakagawa (2013) にあるそれぞれの項目を分けたもので、下記に該当する：

N-CF：文焦点

CF：WH 応答焦点、対比焦点

表 5. 調査結果

	A	S		P
		S _A	S _P	
文焦点	ガ	ガ/ø	ガ/ø	ø 傾向
WH 応答焦点	ガ	ガ傾向	ø 傾向	ø 傾向
対比焦点	ガ	ガ	ガ/ ø	ø 傾向

なお、ここで記された内容は以下のことを示している：

ガ：話者 4 名全員についてガ格のみが認められる

ø：話者 4 名全員についてハダカのみが認められる

ガ/ø：話者 4 名全員について、どちらも等しく認められる

ガ傾向：話者 3 名の回答がガ格で揃った場合 / 話者 4 名中 2 名がガ格で揃い、他 2 名がどちらでも自然と回答した場合（ヲ格にも等しく適用する）

ø 傾向：話者 3 名の回答がハダカで揃った場合 / 話者の 4 名中 2 名がハダカで揃い、他 2 名がどちらでも自然と回答した場合

まず、この時点で能格型がどの焦点環境でも成り立たないことがわかる。下地 (2022) は能格型について、現時点でどの方言にもこれが認められないと述べているが、今回の調査の結果、能格型だと主張されていた関西方言である加古川市方言についてもやはり能格型は成り立たないことがはっきりした。

次に、Nakagawa (2013) が主張する分裂自動詞型についても、明確にそれが認められる環境はなかった。確かに、S_Aの方が S_Pよりも有標識になりやすいことは見て取れるが、それは傾向であって、カテゴリーカルな話者の容認性（S_Aでは常にガ、あるいは S_Pで常にハダカ）は得られていない。下地 (2019) は、標準語の口語について、S_Aの方が S_Pよりもガを取りやすいという傾向を認め、それを分裂自動詞性と呼び、これをカテゴリーカルな S_A vs. S_P の区別（分裂自動詞型）と区別する必要性を述べているが、これを加古川市方言に当てはめると、WH 応答焦点・対比焦点で分裂自動詞性が認められるものの、Nakagawa (2013) の主張するような明確な分裂自動詞型はどの環境でも成立し

ていないことが明らかとなった。

第3点目に Nakagawa (2013) では同じとして扱われていた CF 内でも、ガ格の容認度が対比焦点のほうが WH 応答焦点に比べて高く、範囲も広いことが確認できた。Shimoji (2018) では焦点タイプの階層 (Focus-Marking Hierarchy) を提案しており、ここでは対比 > WH 応答焦点の順で形態的な焦点標示の必要度に変化が見られ、左のほうが必要度が高いとしている。今回の結果から、焦点タイプが加古川市方言にも適用可能であることがわかった。

以下では、それぞれの焦点環境における格標示について個別に記述を行なっていく。

5.1 文焦点

5.1.1 文焦点 A 項・P 項

文焦点では、A 項の場合にはガ格が必要な傾向が強かった。P 項の場合にはハダカのほうが認められやすい傾向にあり、特に A 項と共に出現する P 項ではハダカしか認められなかった。

- (12) 状況：A さんの後ろのテーブル席に座っていた男の子がお皿を落としてしまった。その音を聞いた A さんの質問に対して B さんは男の子のほうを見ながら答える。

A：なんか大きい音したけど、何があったん？

B：あの子{ガ/?Ø}今お皿{??ヲ/Ø}落としたんよ。

5.1.2 文焦点 S_A 項

文焦点における S_A 項は、ガ格とハダカのいずれも自然であると認められたが、これは焦点以外の状況に依存して差異が見られたものである。具体的には、独り言として発話する場面や緊急性/意外性を伴う状況の場合と、それ以外の聞き手を想定して事実を伝えるための発話である。ここで認められるガ格は下地 (2019) より、命題全体が新情報となる場合、また久野 (1973) より述部が一時的な状態を表している場合であるため、中立叙述のガ格であると考えられる。

以下は聞き手の想定の有無の違いによるそれぞれの容認度を示す例文である。

- (13) a: 状況：部屋で1人の時の独り言として

あ、あんなところに猫{?ガ/∅}歩いてる。

- b: 状況：同じ部屋にいる人に話しかけるようにして

あ、あんなところに猫{ガ/?∅}歩いてる。

以下は意外性を伴うか否かによるそれぞれの容認度を示す例文である。

- (14) a: 文脈：公園（屋外）にいる時の会話として

Q: 何見てんの？

A: チャリ{ガ/?∅}走ってるんよ。

- b: 文脈：大型商業施設のフードコート（屋内）にいる時の会話として

Q: 何見てんの？

A: チャリ{?ガ/∅}走ってる！

(14-a) の場合、特に見ているものに意外性は無く聞き手がいる前提の会話であり、ガ格のほうが容認されている。それに対して (14-b) は屋内に自転車が走っているという常識から逸脱した状況での聞き手がいる前提の会話であり、ここではハダカのほうが容認されている。

ここで、ガ格の有無に違いが見られる理由を明らかにするため、日本語共通語の口語における格配列の分析を行った下地 (2019) であげられる脱主題化仮説を紹介したい。その概要は以下の通りである。口語の談話において、述語焦点の出現頻度は他焦点に比べて高い。従って、聞き手は、話し手の発話を主語は焦点の外で主題として働き、述語は焦点の中にあるという「デフォルト仮説」に基づき理解する傾向にある。そこで話し手はこのデフォルト仮説に反する場合にはそれを標示しなければならず、ガ格がその役割を担っているとされる。これを下地 (2019) では脱主題化仮説と呼ぶ。

脱主題化仮説と相互関係にある概念として内在的主題性があり、これは主語の主題

解釈には内在的主題性も影響しているとするものである。有生性階層（有生＞無生）の中での有生側のもの、また意味的階層（動作主＞経験者＞対象）の中での動作主的なもののほうが、主題として解釈されやすく、無生や対象に該当する主語は主題として解釈されにくい。この文の他要素に関わらず名詞句自体が持つ主題性を内在的主題性と呼ぶ。

脱主題化仮説の中は、共通語の口語においてはハダカ名詞句が基底とされ、ガ格が標示されるものには積極的な意義が認められるとする。また、内在的主題性が高い主語の場合には、特に脱主題化が必要となり、A>S>Pの順でガ格標示が必要となる。

これを文焦点 S_A 項に適用して考えると、独り言の場面でハダカの容認度が高くなることが説明される。つまり、独り言の場合、聞き手が自分自身であるため文章構造を工夫することで情報伝達の確度を上げる必要性が低いため、ハダカ傾向が見られたと推測されるのだ。対して、聞き手の存在を前提とした発話では主語も焦点の中にあるとして聞き手に解釈させるために脱主題化の必要があり、ガ格の容認度が高く、ハダカの容認度が低くなる。また、文に含まれる情報の伝達に緊急性がある場合、または驚きの感情が含まれる場合にはハダカの容認度が上がると推測される。先に提示した例文の（14-b）では驚きの感情に加え、情報伝達の確度よりも伝達速度が優先されたためにハダカの方が容認される傾向にあると考えられる。

以上のことから、文焦点の S_A 項では、その文の聞き手の有無や内容の緊急性/意外性が格標示に関わっていると考ええる。

5.1.3 文焦点 S_P 項

文焦点 S_P 項では、焦点のみに注目した場合にはガ格とハダカのどちらも容認されるが、その中でも S_A 項と同じく、状況によって格標示の傾向に差が見られた。具体的には、 S_P 項の直前にくる名詞句の起こした動詞句の動作が、話し手またはその出来事に関係する話の中の他者の行動に影響する物事の原因となっているか否かである。なお、これは有生名詞の場合に見られた傾向であり、本研究の検証の中では、無生名詞が影響を与える場合にはハダカの傾向にあった。これは無生名詞の、動作主として原因となることが稀である、という有生性階層に伴う性質に由来するものであると考ええる。

- (15) 文脈：同じ学校に通う生徒同士の会話の中での全く新しい話題として
そういえばゆみちゃん{?ガ/0}インフルになったらしいで。

- (16) 文脈：Bさんの飼い犬が側溝に落ちてしまい、それを助け出そうとB
 さんがちょうど側溝に入るタイミングでAさんが通りかかった
 A：なにしてんの？
 B：うちの犬{ガ/?0}溝に落ちてもたから取り上げてんねん。

(16)のように、ガ格が認められやすい場合は、先行するS_p項が話し手またはその出来事に関係する話の中の他者の行動に影響する物事の原因となった場合である。ここでは行動の原因を焦点のうちに含ませる必要が高くなり、ガ格標示することで主語も焦点に含み、脱主題としていると推測される。なお、S_p項が話し手や他者の行動に変化を及ぼさない場合には聞き手に主語が焦点内にあるとわざわざ解釈させる必要性も低く、聞き手に解釈を委ねても良いためにハダカとガ格標示の両方が認められると考える。

5.2 WH 応答焦点

5.2.1 WH 応答焦点 A 項・P 項

WH 応答焦点においても、A 項はガ格、P 項はハダカであることが最も自然である。

- (20) Q：なんかクッキー減ってるやん、誰が食べたん？
 A：お父さん{ガ/?0}それ{??ヲ/0}食べてたで。
- (21) Q：お父さん昨日の昼何食べてた？
 A：うどん{??ヲ/0}食べてたで。

5.2.2 WH 応答焦点 S_A 項

WH 応答焦点のS_A項においては、ガ格が必要な場合が多く、両方が自然となることもあったが、ハダカのみが認められることはなかった。

- (22) 文脈：Aさんが走って通り過ぎる人に軽い挨拶をしているのを見たBさん
 B：誰が走ったん？
 A：お兄ちゃん{ガ/?0}走ったんよ。

5.2.3 WH 応答焦点 S_P 項

WH 応答焦点 S_P 項においては基本的にハダカの容認度が高い傾向にある。本調査では有生性による影響は認められなかった。話者への対面調査により、両方自然とされるものもあったが、全体的にハダカの傾向が強い。具体的にはアンケート調査を行った際に、(23)と同じ質問を有生性ごとに行ったが、「誰」という疑問詞が不自然である無生名詞や動物名詞以外の有生名詞においては常に半数以上がハダカを7段階のうち5以上の容認度であると回答した。

- (23) 文脈：BさんはAさんが写った写真を見ていた。Aさんはその写真が撮られたことには気づいていない。そこに通りかかったAさんとBさんの会話として

A: 誰か写ってんの？

B: おまえ{?ガ/0}写ってんで。

5.3 対比焦点

5.3.1 対比焦点 A・P

対比焦点においてもA項はガ格で現れ、P項はハダカの傾向が見られる。P項は命令文の場合のみヲ格標示の容認度が高くなる。P項においてヲ格が標示されるのは本調査ではこの場合のみであった。命令文以外では、ここでもA項と共に現れる場合にはハダカのみが認められた。

- (24) Q: ハンバーグ食べていい？

A: いや、野菜{ヲ/?0}食べてからにしない。

- (25) 文脈：太郎が罰として風呂洗いを課せられていた場合

Q: おねえちゃんがお風呂洗ったらええやん。

A: いや、太郎{ガ/??0}お風呂{ヲ/?0}洗いなさい。

5.3.2 対比焦点 S_A 項

対比焦点の S_A 項では、ガ格標示の傾向がある。両方自然とされる場合もあったが、ハダカが自然であるとされる場合はなかった。

(26) 状況：姿は見えないが、Bさんの弟が話している声を聞いたAさん

A: 今喋ったんってお兄ちゃん？

B: いや、今のは弟{ガ/??Ø}喋ったで。

5.3.3 対比焦点 S_p 項

対比焦点 S_p 項の場合ガ格もハダカも等しく認められ、今回の検証では特に傾向は見られなかった。

(27) Q: こないだ白いスープ皿が割れたんやっけ？

A: 白いスープ皿じゃなくて、青いでっかいお皿{ガ/Ø}割れてん。

6. 調査結果の考察

表5におけるガ格の分布の全般的な傾向について、今回の検証の中で、ガ格の標示傾向が見られたのはA項、文焦点の聞き手を想定した S_A 項と他者の行動に影響を与えている場合の S_p 項、WH 応答焦点の S_A 項、対比焦点の S_A 項と S_p 項である。本研究の結果は全体的に、 $A > S_A > S_p$ の順にガ格標示の必要性が下がっている傾向が見られた。これらは下地（2019）で紹介された内在的主題性に伴う脱主題化の必要性が、動作主性が高いほど必要になるということから説明できる。同じ項のうちでも状況の違いでガ格標示が必要な場合等も脱主題化が必要である場合に限られていたことから、加古川市方言におけるA項・S項の格標示傾向のメカニズムは脱主題化によるものであると考える。

P項は基本的にハダカが自然とされているが、対比焦点の命令文という限定的な形でのみ、ヲ格標示の傾向が見られた。これは5章で述べた焦点タイプによる対比焦点の有標示傾向に起因するものであると考えられ、P項の格標示傾向のメカニズムは焦点タイプであると考えられる。

7. 結論

本論文の調査結果より、兵庫県加古川市方言では、滋賀県出身の Nakagawa 本人の内省から分析された Nakagawa（2013）内で述べられた関西方言の格配列とは異なる格体系が見られた。Nakagawa が主張したような能格型は認められず、また分裂自動詞型も認められないことが明らかとなった。

ただし、 S_A 項の方が S_P 項に比べてガによる標示がなされやすいという傾向は確かめられた。これを、Nakagawa のように、明確な格配列の 1 つとして、すなわち以下で述べていく分裂自動詞型として、一般化することには問題がある。下地 (2019) が指摘するように、 S_A 項の方が S_P 項よりも格標示されやすい、という傾向は、主語となる名詞句の内在的主題性の高低によってさまざまであり、それは「 S_A 項は常にガ」であるとか「 S_P 項は常にハダカ」のようなカテゴリーカルな区別になるとは限らない。この、内在的主題性に応じて連続的に変動する有形格標示の傾向を分裂自動詞「性」と呼ぶ。一方、この分裂自動詞性がカテゴリーカルな格標示の違いに収斂するとき、すなわち S_A 項は常にガ、 S_P 項は常にハダカ、のような区別になった時、これは格配列パターンとしての分裂自動詞「型」を持つという (下地 2019) 。Nakagawa (2013) はこの区別を行っておらず、自身が示したデータ (分裂自動詞性をサポートするデータ) と矛盾した解釈 (分裂自動詞型としての解釈) を示し、それを本研究では棄却した。

本研究で示したように、分裂自動詞性は限られた焦点環境でのみ見られた。文焦点においては、傾向としてガ格とハダカのどちらも認められる場合があるという点では S 項内でも同じ傾向であると言え、またどちらにおいても脱主題化の場合にはガ格が標示される傾向にあることから、自動詞内でも分裂自動詞性は見られなかった。

WH 応答焦点においては、 S_A 項を含む A 項と S_P 項を含む P 項とで格の標示に差が見られたという点においては分裂自動詞性が見られ、これは Nakagawa (2013) では見られなかった兵庫県加古川市方言の独自性であると言える。しかし、あくまで傾向であり、ハダカと格標示の両方認められる場合には S_P 項はガ格、 P 項はヲ格が認められるため、完全な分裂自動詞型とは言えず、分裂自動詞性を持っていると判断するのが妥当であると考ええる。

対比焦点においては、他焦点に比べてガ格標示の必要性が高かったものの、 S 項内でハダカが許容されるか否かでの違いが生まれたことから、分裂自動詞性が認められた。

以下、今後の課題を述べる。まず、面接調査でこちらが用意した文脈や例文を伝え、その中からの選択制や容認度調査を行ったが、これは普段の会話とは異なる形式での発話となるため、完全に自然な回答であるとは言い切れない。また、アンケート調査や面接調査、電話調査ではその焦点構造等を持つ文の出現度までは確認できなかった。これらのことから、自然談話での調査も行なっていく必要があると考える。面接調査で協力してもらった話者に関しても一人称を用いない話者や、二人称に対してそもそも怒りなど負のイメージが伴っている場合、また男性的なイメージが伴う等、

使わないことが自然であるという話者もいた。性差や年齢差の幅を広げて検証を行う必要があると考えられる。

さらに、これらの例文では主語と述語を必ず用いるものとして検証を行ってきたが、述語焦点がデフォルト仮説として働くことの要因となっているように、そもそも述語のみでの回答や、項焦点においても必要項のみを答えることが最も自然であるとする場合も多くあった。このような場合の自然な選択を検証するのは困難であったため、検証方法や検証量についても考えていく必要がある。

竹内・松丸（2019）で分析されていた京都市方言においては、格標示のみならず、述語の音調句の有無によるイントネーションの違いにも着目し、情報構造が分析されていた。これをイントネーション標示と呼び、格標示と共に文の意味役割を担っているとされている。その結果として、イントネーション標示では Nakagawa（2013）で同一種と扱われた対比焦点と WH 応答焦点（ここでは S_A 項に限る）では音調句が無い同音性、述語焦点と文焦点では音調句がある同音性が認められ、京都市方言においてはこの区別に頓着しないという主張をしている。ここでは WH 応答焦点でのみ格標示の分裂自動詞性に加えて、イントネーション標示でも分裂自動詞性が見られたとされ、これは S_p 項の語用論的な性質に依存している結果だと主張する。しかし、他焦点においては格標示においても分裂自動詞性は見られなかった。本論文は加古川市方言の格標示のみを扱ったが、WH 応答焦点意外にも対比焦点において傾向としての分裂自動詞性が認められたという点で竹内・松丸（2019）との違いが見受けられる。加古川市方言のイントネーション標示に関しても研究課題としたい。

文献

久野暉(1973)『日本文法研究』大修館書店, 東京

加藤重広(1997)「ゼロ助詞の談話機能と文法機能」, 加藤重広『富山大学人文学部紀要 = Journal of the Faculty of Humanities, University of Toyama』, 富山大学人文学部, 富山, 19-82 頁

角田太作(2009)『世界の言語と日本語: 言語類型論から見た日本語 改訂版』, くろしお, 東京

日高水穂(2009)「格」, 大西拓一郎(編)『方言文法調査ガイドブック3』, 国立国語研究所, 1-14 頁

Nakagawa, Natsuko (2013) “Discourse Basis of Ergativity and Accusativity in Spoken Japanese Dialects,” Master’s thesis, State University of New York at Buffalo, Buffalo

Shimoji, Michinori (2018) “Information Structure, Focus, and Focus-Marking Hierarchies in Ryukyuan Languages,” GENGU KENKYU (Journal of Linguistic Society of Japan), 154, pp.85-121

下地理則(2019)「現代日本共通語(口語)における主語の格標示と分裂自動詞性」, 竹内史郎・下地理則(編)『日本語の格標示と分裂自動詞性』, くろしお, 東京, 1-36 頁

竹内史郎・松丸真大(2019)「京都市方言における情報構造と文形態: 格標示とイントネーション標示による分裂自動詞性」, 竹内史郎・下地理則(編)『日本語の格標示と分裂自動詞性』, くろしお, 東京, 67-102 頁

下地(2022)「日琉諸語の格体系—概観と類型化—」, 木部暢子・竹内史郎・下地理則(編)『日本語の格表現』, くろしお, 東京, 205-237 頁

竹内史郎・松丸真大(2022)「本州方言における他動詞文の主語と目的語の区別について—京都市方言と宮城県登米町方言の分析—」, 木部暢子・竹内史郎・下地理則(編)『日本語の格表現』, くろしお, 東京, 65-90 頁

日高水穂(2023)「演者の出身地からみた現代漫才: 『M-1 グランプリ』決勝コンビの分析」, 日高水穂『國文學』, 関西大学国文学会, 188-169 頁

謝辞

本論文の執筆にあたって、ご指導・ご協力いただいた方々にこの場を借りて心より感謝いたします。まず、貴重なお時間をいただいて調査にご協力くださった話者の方々に心より感謝申し上げます。面接調査、電話調査等数回に渡る調査にもお忙しい中快くご協力いただいたことに深く感謝致します。最後に、担当教員である九州大学文学部言語学研究室の下地理則先生にはお忙しい中、本論文の調査、執筆にあたりご指導やご助言を頂きました。併せて厚く御礼申し上げます。

補填(appendix)																						
アンケート調査																						
例文ID	文脈	例文	容認性	話者A	話者B	話者C	話者D	話者E	話者F	話者G	話者H	話者I	話者J	話者K	話者L	話者M	話者N	話者O	話者P	話者Q	話者R	
	2の前提条件： あなたはある広いレストランに家族と、家族ぐるみで仲の良い友人一家と一緒に来ています。 テーブルを挟んで反対側に座る友人と話をしていました。																					
1	2- (1)あなたはお皿を落としました。しかし友人はその時後ろを向いていて、音に驚きこちらに振り向きます。 「なんか大きい音したけど、何があったん?」とあなたに聞く友人に対する答えです。	私今お皿落としたんよ。	1(不自然)<7(自然)の7段階リカートスケール	3	6	2	2	6	1	4	4	7	6	7	4	6	7	3	5	5	5	
2	2-(2)友人の後ろ側にあるテーブルに座っていた男の子がお皿を落としたのが見えました。 「なんか大きい音したけど、何があったん?」と聞く友人に、あなたは男の子の方を見ながら答えます。	あの子今お皿落としたんよ。	1(不自然)<7(自然)の8段階リカートスケール	6	6	4	7	6	5	6	6	7	6	7	7	2	7	3	7	4	5	
3	2-(3)友人の後ろで猫が棚に飛び乗り、勢い余ってお皿を落としてしまうところをあなたは見ました。 「なんか大きい音したけど、何があったん?」と聞く友人に対してあなたは猫を指差しながら答えます。	猫お皿落としたんよ。	1(不自然)<7(自然)の9段階リカートスケール	2	2	1	5	5	1	1	2	2	5	5	7	1	4	2	7	4	1	
4	2- (4)あなたは友人が持っていたカバンがお皿に当たってお皿が押し出されてしまったのが見えましたが、本人はそれに気づいていないようです。 「なんか大きい音したけど、何があったん?」に対する答えです。	あんた今お皿落としたんよ。	1(不自然)<7(自然)の10段階リカートスケール	1	3	2	6	2	1	1	1	5	6	5	7	6	6	4	4	5	1	
5	2-(5)友人の後ろでお皿を運んでいた店員さんがお皿を落とすのをあなたは見ました。 これに対して友人は「なんか大きい音したけど、何があったん?」と聞きます。 あなたはお皿を落とした店員さんの方を見ながら答えます。	店員さん今お皿落としたんよ。	1(不自然)<7(自然)の11段階リカートスケール	3	3	4	7	2	3	3	6	4	6	7	7	2	5	3	7	5	4	
6	2-(6)友人からは見えない位置であなたの姪がお皿を落としました。 これに対して友人は「なんか大きい音したけど、何があったん?」と聞いたことに対する答えです。	姪っ子今お皿落としたんよ。	1(不自然)<7(自然)の12段階リカートスケール	5	3	3	5	2	2	2	3	1	6	6	4	6	5	3	5	5	4	
7	2- (7)友人の二つ横の席に座る友人の妹のゆみちゃんがお皿を落としてしまいました。友人は真横のことに気づいていません。 「なんか大きい音したけど、何があったん?」に対する答えです。	ゆみちゃん今お皿落としたんよ。	1(不自然)<7(自然)の13段階リカートスケール	6	4	2	7	2	2	2	6	6	6	7	7	6	6	3	4	5	5	
8	2-(8)友人からは死角になる双方の両親が座っているテーブルであなたのお母さんがお皿を落としました。 友人は後ろから聞こえた音に「なんか大きい音したけど、何があったん?」と聞きました。 これに対するあなたの答えです。	うちのお母さん今お皿落としたんよ。	1(不自然)<7(自然)の14段階リカートスケール	7	5	5	7	2	4	7	4	6	6	7	4	6	6	4	6	5	6	
	3の前提条件： ある部屋にいます。あなたがそこで本を読んでいると友人が入ってきました。 友人が入ってきた段階ではあなたしか部屋にはいません。 以下の文章はそこで友人が「あれ、さっき開いてなかったけど、誰がドア開けたん?」と聞いてきたときの答えです。																					
9	3-(1)「あれ、さっき開いてなかったけど、誰がドア開けたん?」	さっき太郎開けたんよ。	1(不自然)<7(自然)の15段階リカートスケール	5	2	5	4	5	1	5	4	2	4	6	7	5	5	2	7	5	1	
10	3-(2)「あれ、さっき開いてなかったけど、誰がドア開けたん?」	さっきおばあちゃん開けたんよ。	1(不自然)<7(自然)の16段階リカートスケール	5	2	5	5	5	1	5	3	4	4	7	4	6	5	2	5	5	2	
11	3-(3)「あれ、さっき開いてなかったけど、誰がドア開けたん?」	さっき妹開けたんよ。	1(不自然)<7(自然)の17段階リカートスケール	4	2	5	5	5	1	5	5	2	4	7	4	6	5	2	7	5	2	
12	3-(4)「あれ、さっき開いてなかったけど、誰がドア開けたん?」	さっき猫開けたんよ。	1(不自然)<7(自然)の18段階リカートスケール	3	2	5	3	5	1	2	1	1	1	5	4	2	3	2	7	4	1	
13	3-(5)「あれ、さっき開いてなかったけど、誰がドア開けたん?」	さっき先生開けたんよ。	1(不自然)<7(自然)の19段階リカートスケール	5	4	5	4	5	1	3	4	6	4	5	7	6	5	2	3	5	2	
14	3-(6)「あれ、さっき開いてなかったけど、誰がドア開けたん?」	さっきあいつ開けたんよ。	1(不自然)<7(自然)の20段階リカートスケール	7	5	5	1	5	5	3	2	6	3	7	7	2	5	1	7	5	5	
15	3-(7)「あれ、さっき開いてなかったけど、誰がドア開けたん?」	さっき私開けたんよ。	1(不自然)<7(自然)の21段階リカートスケール	7	7	7	7	5	7	7	7	7	7	7	4	6	7	3	7	5	6	
16	3-(8)「あれ、さっき開いてなかったけど、誰がドア開けたん?」 (この場合の自分は相手のことを指して言うものとする)	さっき自分開けたんやん。	1(不自然)<7(自然)の22段階リカートスケール	7	7	7	6	6	6	6	6	7	5	7	7	6	7	3	7	7	1	
	4の前提条件： 写真を見ていると通りかかった友人が「誰か写ってんの?」という質問をします。 それに対して、あなたが写真を見せながら答えたものとしての答えです。																					
17	4-(1)「誰か写ってんの?」	智也写ってる。	1(不自然)<7(自然)の23段階リカートスケール	6	7	7	7	7	7	6	2	7	5	7	7	6	4	3	7	6	3	
18	4-(2)「誰か写ってんの?」	あいつ写ってる。	1(不自然)<7(自然)の24段階リカートスケール	7	7	2	5	7	7	3	1	6	3	7	7	6	2	1	7	5	5	
19	4-(3)「誰か写ってんの?」	タクシー写ってる。	1(不自然)<7(自然)の25段階リカートスケール	6	7	7	5	6	5	6	1	7	6	7	7	2	3	2	7	5	3	
20	4-(4)「誰か写ってんの?」	弟写ってる。	1(不自然)<7(自然)の26段階リカートスケール	6	7	7	7	7	7	6	7	7	6	7	7	6	4	2	7	6	5	
21	4-(5)「誰か写ってんの?」	イルカ写ってる。	1(不自然)<7(自然)の27段階リカートスケール	6	7	7	4	6	7	5	1	7	6	7	7	6	3	4	7	5	5	
22	4-(6)「誰か写ってんの?」	小学校写ってる。	1(不自然)<7(自然)の28段階リカートスケール	1	7	7	1	6	7	6	1	7	6	7	7	2	2	3	7	5	4	
23	4-(7)写真に写っているのは友人ですが、友人は撮られたことに気づいていません。 「誰か写ってんの?」	おまえ写ってんで	1(不自然)<7(自然)の29段階リカートスケール	2	7	7	5	6	7	3	7	7	6	7	7	6	7	2	7	6	5	
24	4-(8)「誰か写ってんの?」	兄ちゃん写ってる。	1(不自然)<7(自然)の30段階リカートスケール	7	7	7	7	7	7	6	7	7	6	7	7	6	4	3	7	6	5	
25	4-(9)「誰か写ってんの?」	俺写ってる	1(不自然)<7(自然)の31段階リカートスケール	7	7	7	5	6	7	6	7	7	7	7	4	6	5	3	7	6	6	

[illegible]

例文ID																						
26	4-(10)「誰か写ってんの？」	先生写ってる。	1(不自然)<7(自然)の32段階リカートスケール	7	7	7	5	6	7	6	7	7	6	7	4	6	5	4	6	6	6	
	5の前提条件： あなたと友人は公園の円形テーブルで向かい合って座っています。 その公園には広い道があり、ジョギングをする人が見られたり、サイクリングロードなどもあります。友人の後ろでは犬が走り回り、鳴き声が聞こえています。 「何見てんの？」という友人の問いに対しての答えです。																					
27	5-(1)「何見てんの？」	ドーベルマン走ってるんよ。	1(不自然)<7(自然)の33段階リカートスケール	5	6	4	1	6	7	5	3	5	2	6	4	5	5	2	7	4	3	
28	5-(2)「何見てんの？」	チャリ走ってるんよ。	1(不自然)<7(自然)の34段階リカートスケール	6	6	3	1	6	7	4	2	3	3	6	7	6	6	2	7	4	3	
29	5-(3)「何見てんの？」	ゆみちゃん走ってるんよ。	1(不自然)<7(自然)の35段階リカートスケール	6	6	4	6	6	6	7	7	6	3	7	4	6	6	4	7	4	3	
	6の前提条件： あなたと友人は大型商業施設のフードコートで友人と向かい合って座っています。 なにかを見ているあなたに友人は「何見てんの？」という質問に対する答えです。																					
30	6-(1)「何見てんの？」	あやちゃん走ってる。	1(不自然)<7(自然)の36段階リカートスケール	1	7	6	5	6	7	3	7	3	2	7	4	6	5	2	7	4	6	
31	6-(2)「何見てんの？」	リス走ってる。	1(不自然)<7(自然)の37段階リカートスケール	4	7	6	5	6	7	3	2	5	2	7	4	2	4	1	4	4	6	
32	6-(3)「何見てんの？」	チャリ走ってる。	1(不自然)<7(自然)の38段階リカートスケール	2	7	3	3	6	7	3	6	7	2	7	4	2	5	4	7	4	6	
	7の前提条件： 何人かの友人と歩きながら談笑をしています。 誰かor何かが転んだような音がして、前方を歩いていた友人から「誰かコケたみたいな音したけど誰？」と聞かれた際の答えです。																					
33	7-(1)「誰かコケたみたいな音したけど誰？」に対して、あなたは転んだ当人を指さしながら答えます。	あいつコケた。	1(不自然)<7(自然)の39段階リカートスケール	7	5	7	6	6	7	3	6	3	3	5	7	6	6	4	6	6	6	
34	7-(2)「誰かコケたみたいな音したけど誰？」	チャリコケた。	1(不自然)<7(自然)の40段階リカートスケール	4	5	6	6	5	7	3	5	3	2	5	7	2	5	5	4	5	2	
35	7-(3)友人は前方を見ていてあなたが転んだところを見ていません。 「誰かコケたみたいな音したけど誰？」	私コケた。	1(不自然)<7(自然)の41段階リカートスケール	1	5	7	6	5	7	3	6	7	7	6	4	6	7	6	7	6	6	
36	7-(4)「誰かコケたみたいな音したけど誰？」	叔母ちゃんコケた。	1(不自然)<7(自然)の42段階リカートスケール	5	6	7	6	6	7	3	7	7	6	7	7	6	5	6	7	6	6	
37	7-(5)「誰かコケたみたいな音したけど誰？」	友だちコケた。	1(不自然)<7(自然)の43段階リカートスケール	3	5	7	6	6	7	3	5	6	6	5	7	6	4	4	7	5	6	
38	7-(6)「誰かコケたみたいな音したけど誰？」	さっちゃんコケた。	1(不自然)<7(自然)の44段階リカートスケール	5	5	7	6	6	7	3	7	6	6	7	7	6	6	4	7	7	6	
39	7-(7)「誰かコケたみたいな音したけど誰？」	犬コケた。	1(不自然)<7(自然)の45段階リカートスケール	2	4	7	6	5	7	3	4	2	2	6	7	2	3	2	7	5	2	
40	7-(8)「誰かコケたみたいな音したけど誰？」	弟コケた。	1(不自然)<7(自然)の46段階リカートスケール	5	5	7	6	6	7	3	7	6	6	7	7	6	5	5	7	6	6	
	8の前提条件： 友人からの「なにしてんの？」という問いに対しての答えです。																					
41	8-(1)「なにしてんの？」	時計直してんねん。	1(不自然)<7(自然)の47段階リカートスケール	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6	7	6	7	7	6	
42	8-(2)「なにしてんの？」	花に薬やってんねん。	1(不自然)<7(自然)の48段階リカートスケール	7	7	7	6	7	7	7	7	7	6	7	7	6	7	4	7	7	1	
43	8-(3)「なにしてんの？」	怪我してもたから手当てしてんねん。	1(不自然)<7(自然)の49段階リカートスケール	7	7	7	7	7	7	7	6	7	2	7	7	6	7	6	7	7	6	
44	8-(4)「なにしてんの？」	薬飲んでんねん。	1(不自然)<7(自然)の50段階リカートスケール	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6	7	6	7	7	6	
45	8-(5)「なにしてんの？」	宿題してんねん。	1(不自然)<7(自然)の51段階リカートスケール	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	5	5	5	5	4	
	9の前提条件： 友人がああなたの家に遊びにきました。 先週友人が遊びにきたときにクッキーを5枚持ってきてくれました。 今はそのクッキーが2枚になっています。 「お、クッキー減ってるやん。誰が食べたん？」という問いに対しての答えです。																					
46	9-(1)「お、クッキー減ってるやん。誰が食べたん？」	あいつそれ食べた。	1(不自然)<7(自然)の52段階リカートスケール	5	2	6	3	1	2	2	2	3	1	5	7	6	5	2	7	5	3	
47	9-(2)「お、クッキー減ってるやん。誰が食べたん？」	犬それ食べた。	1(不自然)<7(自然)の53段階リカートスケール	1	2	7	2	1	2	2	2	2	2	4	7	2	4	1	7	4	2	
48	9-(3)「お、クッキー減ってるやん。誰が食べたん？」	私それ食べた。	1(不自然)<7(自然)の54段階リカートスケール	5	3	7	3	2	7	5	6	7	5	6	7	5	6	2	7	5	5	
49	9-(4)「お、クッキー減ってるやん。誰が食べたん？」	妹それ食べた。	1(不自然)<7(自然)の55段階リカートスケール	4	2	7	3	1	2	2	5	5	3	6	7	5	3	1	7	5	3	
50	9-(5)「お、クッキー減ってるやん。誰が食べたん？」	お父さんそれ食べた。	1(不自然)<7(自然)の56段階リカートスケール	5	2	7	3	1	2	2	4	7	3	6	7	6	5	2	7	5	5	
51	9-(6)「お、クッキー減ってるやん。誰が食べたん？」	友だちそれ食べた。	1(不自然)<7(自然)の57段階リカートスケール	4	2	7	3	1	2	2	3	6	3	5	7	6	2	1	7	5	5	

[illegible]

例文ID																					
52	9-(7)「お、クッキー減ってるやん。誰が食べたん？」	透それ食べた。	1(不自然)<7(自然)の58段階リカートスケール	4	2	7	3	1	2	5	4	5	4	5	7	5	5	3	7	5	4
53	10-(1)友人と車に乗っている際、事故渋滞に巻き込まれました。 あなたがスマホで状況調べたところ、落石によって車が潰されたという内容がニュースになっていました。 「なにがあったって？」という友人の質問の答えとして	山から転がってきた岩車潰したんやって	1(不自然)<7(自然)の59段階リカートスケール	7	3	7	6	6	5	4	4	6	2	4	7	5	4	1	7	7	1
54	10-(2)友人と公園を散策していました。 池の周りで少し休憩をしているところ、あなたは水面を見ている。 「なんか映ってんの？」という友人からの質問の答えとして	雲水面に映ってる。	1(不自然)<7(自然)の60段階リカートスケール	5	4	7	6	6	2	6	4	7	6	5	7	5	5	1	7	5	2

[illegible]

面接調査							
例文ID	文脈	例文	格標示の選択	話者BB	話者CC	話者DD	話者EE
	2の前提条件： あなたはある広いレストランに家族と、家族ぐるみで仲の良い友人一家と一緒に来ています。 テーブルを挟んで反対側に座る友人と話をしていました。						
55	2- (1)あなたはお皿を落としました。しかし友人はその時後ろを向いていて、音に驚きこちらに振り向きま す。 「なんか大きい音したけど、何があったん？」とあなたに聞く友人に対しての答えです。	私{ガ/Ø}今お皿{ヲ/Ø}落としたんよ。	1 ガ格標示O ヲ格標示O 2 ガ格標示O ヲ格標示X 3 ガ格標示X ヲ格標示O 4 ガ格標示X ヲ格標示X	2	4	2	1
56	2-(2)友人の後ろ側にあるテーブルに座っていた男の子がお皿を落としたのが見えました。 「なんか大きい音したけど、何があったん？」と聞く友人に、あなたは男の子の方を見ながら答えます。	あの子{ガ/Ø}今お皿{ヲ/Ø}落としたんよ。	1 ガ格標示O ヲ格標示O 2 ガ格標示O ヲ格標示X 3 ガ格標示X ヲ格標示O 4 ガ格標示X ヲ格標示X	2	2	2	2
57	2-(3)友人の後ろで猫が棚に飛び乗り、勢い余ってお皿を落としてしまうところをあなたは見ました。 「なんか大きい音したけど、何があったん？」と聞く友人に対してあなたは猫を指差しながら答えます。	猫{ガ/Ø}お皿{ヲ/Ø}落としたんよ。	1 ガ格標示O ヲ格標示O 2 ガ格標示O ヲ格標示X 3 ガ格標示X ヲ格標示O 4 ガ格標示X ヲ格標示X	2	2	2	2
58	2- (4)あなたは友人が持っていたカバンがお皿に当たってお皿が押し出されてしまったのが見えました が、本人はそれに気づいていないようです。 「なんか大きい音したけど、何があったん？」に対する答えです。	あんた{ガ/Ø}今お皿{ヲ/Ø}落としたんよ。	1 ガ格標示O ヲ格標示O 2 ガ格標示O ヲ格標示X 3 ガ格標示X ヲ格標示O 4 ガ格標示X ヲ格標示X	2	4		2
59	2-(5)友人の後ろでお皿を運んでいた店員さんがお皿を落とすのをあなたは見ました。 これに対して友人は「なんか大きい音したけど、何があったん？」と聞きます。 あなたはお皿を落とした店員さんの方を見ながら答えます。	店員さん{ガ/Ø}今お皿{ヲ/Ø}落としたんよ。	1 ガ格標示O ヲ格標示O 2 ガ格標示O ヲ格標示X 3 ガ格標示X ヲ格標示O 4 ガ格標示X ヲ格標示X	4	2	2	2
60	2-(6)友人からは見えない位置であなたの姪がお皿を落としました。 これに対して友人は「なんか大きい音したけど、何があったん？」と聞いたことに対する答えです。	姪っ子{ガ/Ø}今{ヲ/Ø}お皿落としたんよ。	1 ガ格標示O ヲ格標示O 2 ガ格標示O ヲ格標示X 3 ガ格標示X ヲ格標示O 4 ガ格標示X ヲ格標示X	2	2	2	2
61	2- (7)友人の二つ横の席に座る友人の妹のゆみちゃんがお皿を落としてしまいました。友人は真横のことに 気づいていません。 「なんか大きい音したけど、何があったん？」に対しての答えです。	ゆみちゃん{ガ/Ø}今お皿{ヲ/Ø}落としたんよ 。	1 ガ格標示O ヲ格標示O 2 ガ格標示O ヲ格標示X 3 ガ格標示X ヲ格標示O 4 ガ格標示X ヲ格標示X	2	4	2	2
62	2- (8)友人からは死角になる双方の両親が座っているテーブルであなたのお母さんがお皿を落としました。 友人は後ろから聞こえた音に「なんか大きい音したけど、何があったん？」と聞きました。 これに対するあなたの答えです。	うちのお母さん{ガ/Ø}今お皿{ヲ/Ø}落とした んよ。	1 ガ格標示O ヲ格標示O 2 ガ格標示O ヲ格標示X 3 ガ格標示X ヲ格標示O 4 ガ格標示X ヲ格標示X	2	4	2	2
	3の前提条件： ある部屋にいます。あなたがそこで本を読んでいると友人が入ってきました。友人が入ってきた段階では あなたしか部屋にはいません。以下の文章はそこで友人が「あれ、さっき開いてなかったけど、誰がドア 開けたん？」と聞いてきたときの答えです。						
63	3-(1)「あれ、さっき開いてなかったけど、誰がドア開けたん？」	さっき太郎{ガ/Ø}開けたんよ。	1 ガ格標示O 2 ガ格標示X	1	1	2	2

64	3-(2)「あれ、さっき開いてなかったけど、誰がドア開けたん？」	さっきおばあちゃん{ガ/Ø}開けたんよ。	1 ガ格標示O 2 ガ格標示X	1	1	2	1
65	3-(3)「あれ、さっき開いてなかったけど、誰がドア開けたん？」	さっき妹{ガ/Ø}開けたんよ。	1 ガ格標示O 2 ガ格標示X	1	1	2	1
66	3-(4)「あれ、さっき開いてなかったけど、誰がドア開けたん？」	さっき猫{ガ/Ø}開けたんよ。	1 ガ格標示O 2 ガ格標示X	1	1	2	1
67	3-(5)「あれ、さっき開いてなかったけど、誰がドア開けたん？」	さっき先生{ガ/Ø}開けたんよ。	1 ガ格標示O 2 ガ格標示X	1	1	2	1
68	3-(6)「あれ、さっき開いてなかったけど、誰がドア開けたん？」	さっきあいつ{ガ/Ø}開けたんよ。	1 ガ格標示O 2 ガ格標示X	1	1	2	1
69	3-(7)「あれ、さっき開いてなかったけど、誰がドア開けたん？」	さっき私{ガ/Ø}開けたんよ。	1 ガ格標示O 2 ガ格標示X	1	1	2	1
70	3-(8)「あれ、さっき開いてなかったけど、誰がドア開けたん？」 (この場合の自分は相手のことを指して言うものとする)	さっき自分{ガ/Ø}開けたんやん。	1 ガ格標示O 2 ガ格標示X	1	1	2	2
	4の前提条件： 写真を見ていると通りかかった友人が「誰か写ってんの？」という質問をします。 それに対して、あなたが写真を見せながら答えたものとしての答えです。						
71	4-(1)「誰か写ってんの？」	智也{ガ/Ø}写ってる。	1 ガ格標示O 2 ガ格標示X	2	2	2	2
72	4-(2)「なんか写ってんの？」	タクシー{ガ/Ø}写ってる。	1 ガ格標示O 2 ガ格標示X	2	1	2	2
73	4-(3)「誰か写ってんの？」	イルカ{ガ/Ø}写ってる。	1 ガ格標示O 2 ガ格標示X	2	1	1	2
74	4-(4)「なんか写ってんの？」	小学校{ガ/Ø}写ってる。	1 ガ格標示O 2 ガ格標示X	2	1	2	2
75	4-(5)「誰か写ってんの？」	俺{ガ/Ø}写ってる	1 ガ格標示O 2 ガ格標示X	2	1	2	2
76	4-(6)「誰か写ってんの？」	先生{ガ/Ø}写ってる。	1 ガ格標示O 2 ガ格標示X	2	2	2	2
	5の前提条件： あなたと友人は公園の円形テーブルで向かい合って座っています。 その公園には広い道があり、ジョギングをする人が見られたり、サイクリングロードなどもあります。友人の後ろでは犬が走り回り、鳴き声が聞こえています。 「何見てんの？」という友人の問いに対しての答えです。						
77	5-(1)「何見てんの？」	ドーベルマン{ガ/Ø}走ってるんよ。	1 ガ格標示O 2 ガ格標示X	1	1	1	2
78	5-(2)「何見てんの？」	チャリ{ガ/Ø}走ってるんよ。	1 ガ格標示O 2 ガ格標示X	1	1	1	2
79	5-(3)「何見てんの？」	ゆみちゃん{ガ/Ø}走ってるんよ。	1 ガ格標示O 2 ガ格標示X	1	1	1	2
	6の前提条件： あなたと友人は大型商業施設のフードコートで友人と向かい合って座っています。 なにかを見ているあなたに友人は「何見てんの？」という質問に対する答えです。						
80	6-(1)「何見てんの？」	あやちゃん{ガ/Ø}走ってる。	1 ガ格標示O 2 ガ格標示X	2	1	2	2

81	6-(2)「何見てんの？」	リス{ガ/Ø}走ってる。	1 ガ格標示O 2 ガ格標示X	2	2	2	2
82	6-(3)「何見てんの？」	チャリ{ガ/Ø}走ってる。	1 ガ格標示O 2 ガ格標示X	2	2	2	2
	9の前提条件： 友人があなたの家に遊びにきました。 先週友人が遊びにきたときにクッキーを5枚持ってきてくれました。 今はそのクッキーが2枚になっています。 「お、クッキー減ってるやん。誰が食べたん？」という問いに対しての答えです。						
83	9-(1)「お、クッキー減ってるやん。誰が食べたん？」	あいつ{ガ/Ø}それ{ヲ/Ø}食べた。	1 ガ格標示O ヲ格標示O 2 ガ格標示O ヲ格標示X 3 ガ格標示X ヲ格標示O 4 ガ格標示X ヲ格標示X	2	2	2	4
84	9-(2)「お、クッキー減ってるやん。誰が食べたん？」	犬{ガ/Ø}それ{ヲ/Ø}食べた。	1 ガ格標示O ヲ格標示O 2 ガ格標示O ヲ格標示X 3 ガ格標示X ヲ格標示O 4 ガ格標示X ヲ格標示X	2	2	2	2
85	9-(3)「お、クッキー減ってるやん。誰が食べたん？」	私{ガ/Ø}それ{ヲ/Ø}食べた。	1 ガ格標示O ヲ格標示O 2 ガ格標示O ヲ格標示X 3 ガ格標示X ヲ格標示O 4 ガ格標示X ヲ格標示X	2	2	2	4
86	9-(4)「お、クッキー減ってるやん。誰が食べたん？」	妹{ガ/Ø}それ{ヲ/Ø}食べた。	1 ガ格標示O ヲ格標示O 2 ガ格標示O ヲ格標示X 3 ガ格標示X ヲ格標示O 4 ガ格標示X ヲ格標示X	2	2	2	2
87	9-(5)「お、クッキー減ってるやん。誰が食べたん？」	お父さん{ガ/Ø}それ{ヲ/Ø}食べた。	1 ガ格標示O ヲ格標示O 2 ガ格標示O ヲ格標示X 3 ガ格標示X ヲ格標示O 4 ガ格標示X ヲ格標示X	2	4	2	2
88	9-(6)「お、クッキー減ってるやん。誰が食べたん？」	友だち{ガ/Ø}それ{ヲ/Ø}食べた。	1 ガ格標示O ヲ格標示O 2 ガ格標示O ヲ格標示X 3 ガ格標示X ヲ格標示O 4 ガ格標示X ヲ格標示X	2	2	2	2
89	家族の話をしているときに、昨日の出来事を思い出して、新しい話題として	そういえば昨日（弟名）{ガ/Ø}机壊してさあ	1 ガ格標示O 2 ガ格標示X	1	2	2	2
90		昨日（弟名）{ガ/Ø}怒鳴って机叩いてさあ	1 ガ格標示O 2 ガ格標示X	1	2	2	2
91		昨日（弟名）{ガ/Ø}机組み立ててくれたんよ	1 ガ格標示O 2 ガ格標示X	2	2	2	2
92	友人と家で話していると、その友人が家の外から音がすると言い、見に行ったところそこに猫がいた。この話を別の友人に話している時に「なんで猫おるって気づいたん？」と聞かれた時の答え	あっちゃん{ガ/Ø}、猫が窓引っ掻く音を聞いて	1 ガ格標示O 2 ガ格標示X	2	2	2	1
93	今話している友人とは共通でない友人「すーちゃん」について話している。すーちゃんの特徴を話している時の文として	すーちゃんはよく物{ヲ/Ø}なくすんよね	1 ヲ格標示O 2 ヲ格標示X	2	2	2	2
94		すーちゃんはよく学校の物{ヲ/Ø}なくす。	1 ヲ格標示O 2 ヲ格標示X	2	2	2	2

95		すーちゃんはよく家の中で物{ヲ/Ø}なくす。	1 ヲ格標示O 2 ヲ格標示X	2	2	2	2
96	公園で姪のあっちゃんとかくれんぼをしているところを友人に話しかけられる。「こんなとこで何してんの？」と問う友人に対して「あっちゃんとかくれんぼしててさ…」に続く文として	あっちゃん{ガ/Ø}私{ヲ/Ø}探してんねん。	1 ヲ格標示O 2 ヲ格標示X	2	2	2	4
97	学校内で友人とすれ違って挨拶をしたとき、別の友人「さっちゃん」がその人を探していたとして	さっちゃん{ガ/Ø}お前{ヲ/Ø}探してたで。	1 ガ格標示O ヲ格標示O 2 ガ格標示O ヲ格標示X 3 ガ格標示X ヲ格標示O 4 ガ格標示X ヲ格標示X	4		1	4
98	かくれんぼで見つかり、ベンチで待っていたところ、友人に「こんなとこでなにしてんの？」と話しかけられ、かくれんぼの話をする「今はなにしてんの？」と聞かれた際の答えとして	あっちゃん{ガ/Ø}すーちゃん{ヲ/Ø}探してんねん。	1 ガ格標示O ヲ格標示O 2 ガ格標示O ヲ格標示X 3 ガ格標示X ヲ格標示O 4 ガ格標示X ヲ格標示X	2	1	2	4
99	同上	あっちゃん{ガ/Ø}おねえちゃん{ヲ/Ø}探してんねん。	1 ガ格標示O ヲ格標示O 2 ガ格標示O ヲ格標示X 3 ガ格標示X ヲ格標示O 4 ガ格標示X ヲ格標示X	4	2	2	4
100	姪のあっちゃんと散歩をしている時、犬を探しているという張り紙を見つけた。あっちゃんはその犬を近くの広い公園で探し始めた。その時友人に会い、「今何してんの？」と聞かれた際の答えとして	あっちゃん{ガ/Ø}犬{ヲ/Ø}探してんねん。	1 ガ格標示O ヲ格標示O 2 ガ格標示O ヲ格標示X 3 ガ格標示X ヲ格標示O 4 ガ格標示X ヲ格標示X	2	2	2	2
101	放課後、教室で友人のさっちゃんと話し込んだ後、帰路につこうとしたところでさっちゃんは自転車の鍵を探し始める。それを待っているところに別の友人が「まだおったんか、今はなんの時間？」と聞かれた際の答えとして	さっちゃん{ガ/Ø}鍵{ヲ/Ø}探してんねん。	1 ガ格標示O ヲ格標示O 2 ガ格標示O ヲ格標示X 3 ガ格標示X ヲ格標示O 4 ガ格標示X ヲ格標示X	2	2	2	4
102	友人と話している時に、犬からの視線を感じてそちらを見た時に友人から「どうしたん？」と聞かれた際の答えとして	犬がじーっと私{ヲ/Ø}見てる。	1 ヲ格標示O 2 ヲ格標示X	2	2	2	2
103		あの犬がじーっと私{ヲ/Ø}見てるんよ。	1 ヲ格標示O 2 ヲ格標示X	2	2	2	2
104	実際の状況を見ていない人から聞かれた「太郎は湯呑みを割ったん？」に対して	いや、太郎は皿{ヲ/Ø}割ってん。	1 ヲ格標示O 2 ヲ格標示X	2	2	2	2
105	自分が実際に状況を見ていない場合に太郎がなにか割った状況で聞く質問として	結局、太郎は何{ヲ/Ø}割ったん？	1 ヲ格標示O 2 ヲ格標示X	2	2	2	2
106	実際の状況を知らない人から「太郎は何を割ったん？」と聞かれた際の答えとして	太郎は皿{ヲ/Ø}割ったんよ。	1 ヲ格標示O 2 ヲ格標示X	2	2	2	2
107	お皿を探している家族が「あの黄色いお皿、どこあるか知らん？」と聞いてきた際の答えとして	あのお皿は太郎{ガ/Ø}割ってもたんよ。	1 ガ格標示O 2 ガ格標示X	1	1	1	1
108	お皿を探している家族が「あの黄色いお皿と青いお皿、どこあるか知らん？」と聞いてきた際の答えとして	黄色いお皿は太郎{ガ/Ø}割ってもたけど、青いお皿は太郎{ガ/Ø}割ったんよ。	1 ガ格標示O 2 ガ格標示X	1	1	1	2
109		野菜{ヲ/Ø}食べなさい。	1 ヲ格標示O 2 ヲ格標示X	2	2	1	1
110		おやつじゃなくてごはん{ヲ/Ø}食べなさい。	1 ヲ格標示O 2 ヲ格標示X	1	2	1	2
111	「ハンバーグ食べていいい？」という子どもからの質問に対しての母の返事として	いや、野菜{ヲ/Ø}食べてからにきなさい。	1 ヲ格標示O 2 ヲ格標示X	1	2	1	1

112	弟or妹、娘などに風呂洗いを罰として課していた時に、「太郎（別の兄弟）がするんじゃあかんの？」と聞かれた際の答えとして	いや、（弟名）{ガ/Ø}お風呂{ヲ/Ø}洗いなさ	1 ガ格標示O ヲ格標示O 2 ガ格標示O ヲ格標示X 3 ガ格標示X ヲ格標示O 4 ガ格標示X ヲ格標示X	2	1	2	2
113	飲み物を飲んでいる相手に対して	今なに{ヲ/Ø}飲んでんの？	1 ヲ格標示O 2 ヲ格標示X	2	2	2	2
114	今まさに飲んでいるわけではないが、飲みものを目の前に置いている相手に対して	今なに{ヲ/Ø}飲んでんの？	1 ヲ格標示O 2 ヲ格標示X	2	2	2	2
115	上の質問に対する答え	紅茶{ヲ/Ø}飲んでんねん。	1 ヲ格標示O 2 ヲ格標示X	2	2	2	2
116	同じ学校に通う生徒同士の会話の中で、全く新しい話題として	そういえばゆみちゃん{ガ/Ø}インフルエンザ	1 ガ格標示O 2 ガ格標示X	1	2	2	2
117	誰かがインフルになったという話を友人としてしていると、近くにいた話を聞いていなかった別の友人が「誰がインフルなったって？」	ゆみちゃんとあさちゃん{ガ/Ø}インフルなっ	1 ガ格標示O 2 ガ格標示X	1	1	2	2
118	「誰がインフルなっとったって？」教室の少し離れた場所にいる生徒を指差しながら	あの子{ガ/Ø}インフルなっとったんやって	1 ガ格標示O 2 ガ格標示X	2	2	2	2
119	同じ学校に通う生徒同士の会話の中で、新たな話題として	そういえば二組{ガ/Ø}学級閉鎖になったらし	1 ガ格標示O 2 ガ格標示X	1	2	2	1
120	同じ学校に通う生徒同士で、どこのクラスが学級閉鎖になったのか知らない生徒から「どこが学級閉鎖になったん？」	二組{ガ/Ø}学級閉鎖になったんやって。	1 ガ格標示O 2 ガ格標示X	1	1	1	1
121	何人かのグループで写真を見ていた時に、近くを通っていた別の友人が「何見てんの？」と聞いてきた。それに対して「写真」と近づいてくる友人に答えたところ、まだ写真を見ていない友人から「なんか有名なもんでも写ってんの？」と聞かれた際の答えとして。この際、犬とは別に被写体があり、犬はたまたま映り込んでいたものとする。	こいつん家の犬{ガ/Ø}写っとる。	1 ガ格標示O 2 ガ格標示X	1	1	1	2
122	何人かのグループであるニュースを見ていた。その際に近くを通っていた別の友人が「なんかあったん？」と聞いてきた際に、携帯画面を見せながら答えるものとして	猫{ガ/Ø}側溝に落ちてもたけど助かったらし	1 ガ格標示O 2 ガ格標示X	2	1	1	1
123	家で飼っている犬を連れて、動物病院に行こうと家を出たところでご近所さんと会った。「これからお出かけ？」と聞くご近所さんに対して	犬{ガ/Ø}お腹下してもたから動物病院行くね	1 ガ格標示O 2 ガ格標示X	1	1	1	2
電話調査							
124	Aさんのいる部屋にBさんが訪れ、あたふたしているAさんを見たBさんが「何が起きたん？」と聞いた際のAさんの返答として	財布{ガ/Ø}落ちてん。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	x	△	△	△
125	AさんとBさんが同じ場所にて、Bさんは財布が落ちる瞬間を見ていないが、音は聞いていた際にAさんのほうを振り向いて「何が起きたん？」と聞いた際のAさんへの返答として	財布{ガ/Ø}落ちてん。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	x	o	△	o
126	外を眺めている際の独り言として	あ、猫{ガ/Ø}歩いてる。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	△	△	o	x
127	同じ部屋にいるBさんに話しかけるようにしてAさんが発言した場合	あ、猫{ガ/Ø}歩いてるで。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	o	o	△	△
128	高い木の上にいる状態で危ない状態を発見した場合 外を眺めている際の独り言として	わ、あんなとこに子ども{ガ/Ø}おる。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	x	△	△	x

129	高い木の上にいる状態で危ない状態を発見した場合 同じ部屋にいるBさんに話しかけるようにしてAさんが発言した場合	わ、あんなとこに子ども{ガ/Ø}おるで。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	o	△	△	o
130	高い木の上にいる状態で危ない状態を発見した場合 外を眺めている際の独り言として	わ、あんなとこに猫{ガ/Ø}おる。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	x	x	△	x
131	高い木の上にいる状態で危ない状態を発見した場合 同じ部屋にいるBさんに話しかけるようにしてAさんが発言した場合	わ、あんなとこに猫{ガ/Ø}おるで。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	o	△	△	x
132	普段は子どもがいない木のふもとにいるのを発見した場合 外を眺めている際の独り言として	あ、あんなとこに子ども{ガ/Ø}おる。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	x	x	△	△
133	普段は子どもがいない木のふもとにいるのを発見した場合 同じ部屋にいるBさんに話しかけるようにしてAさんが発言した場合	あ、あんなとこに子ども{ガ/Ø}おるで。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	x	△	△	x
134	普段は猫がいない木のふもとにいるのを発見した場合 外を眺めている際の独り言として	あ、あんなとこに猫{ガ/Ø}おる。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	x	△	△	x
135	普段は猫がいない木のふもとにいるのを発見した場合 同じ部屋にいるBさんに話しかけるようにしてAさんが発言した場合	あ、あんなとこに猫{ガ/Ø}おるで。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	o	△	o	o
136	修学旅行で班行動中、AさんとBさんとCさんの三人が一緒に行動していた。その時、別の班の写真を撮っていたカメラマンの画角にCさんが入ってしまったようだった。後日、修学旅行の写真が全て廊下に貼りだされ、AさんとBさんはCさん不在のままその時撮られた写真を見つける。 Aさんが「写真あったで！」と言うのに対してBさんは「やっぱ写っとる？」と聞いた。これに対してAさんが発言したとする。	うん、あいつ{ガ/Ø}写っとる。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	x	x	x	x
137	AさんとBさんの2人で奈良公園に遊びに行った。2人はインスタントカメラで写真を撮っていた。ある写真を撮ったあと、後ろに鹿が立っていることに気づいた。 後日、写真を現像し、その時の写真をAさんが見つけたのを見て、Bさんが「やっぱ写っとる？」と聞いた。これに対してAさんが発言したとする。	うん、鹿{ガ/Ø}写っとる。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	△	△	△	o
138	AさんとBさんの2人でインスタントカメラで写真を撮っていた。2人で写真を撮っていると、ちょうどシャッターを押した瞬間に2人の後ろを車が通り、背景を遮るようになってしまったが、現像されるまで状況はわからない。後日、現像されたものを見つけたAさんにBさんが「やっぱ写っとる？」と聞いた。これに対してAさんが発言したとする。	うん、車{ガ/Ø}写っとる。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	x	x	x	x
139	Aさんが友人のCさんの家に行くと、木製の小さなクリスマスツリーの置物が飾られていた。「これめっちゃ可愛いやん！どこで買ったん？」と聞いたAさんに対してCさんが発言したとする。	それ妹{ガ/Ø}学校で作ってきてん。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	o	o	o	o
140	前日に雪が降り、家から見える距離にある畑は足跡がつく程度に積もった。そこにAさんが行くと、見たことのない足跡を見つけ「これなに？なんかの足跡？」とBさんに聞いた際の答えとして。 ※普段その地域で猪は見かけないものとする このBさんに対してのAさんの反応は「え！？猪！？」	昨日猪っぽい{ガ/Ø}見えたからそれかなあ。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	△	△	△	x
141	修学旅行のしおりをもらったAさんとBさんはその表紙のイラストについて話している。「この絵めっちゃ上手いなあ、誰が描いたんやろ。」というAさんに対してのBさんの発言とする。 ※AさんはCさんがイラストを得意としていることを知らないものとする このBさんの発言に対してのAさんの反応は「え！あのCちゃん？絵も上手いんや…」	これ、Cちゃん{ガ/Ø}描いてんて。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	△	o	o	o

142	AさんとBさんが家を出ると、朝霧がかかっていた名残で少し花壇の土が湿っていた。Bさんは霧がかかっていた時間には起きていたが、Aさんは起きていなかった。 「雨でも降ったのかな」というAさんに対してのBさんの発言とする。	私が起きた時は霧{ガ/Ø}かかってたからそれ	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	△	o	△	o
143	AさんとBさんとCさんの三人で公園で遊んでいる時、不思議な形の雲を探してみようという話になった。 。恐竜のような形の雲を見つけた言ったAさんの発言として。	恐竜みたいな雲{ガ/Ø}すごい速さで動いてる	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	△	o	o	o
144	窓辺に近く of 公園から桜の花びらが飛んできて、落ちているのを見つけた時の独り言として	こんなとこまで桜の花びら{ガ/Ø}来てる。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	x	x	x	x
145	AさんとBさんの会話の中で「犬飼ってんのってDちゃんやっけ？」というAさんに対してのBさんの返答として。	Dちゃんちゃう、Cちゃん{ガ/Ø}飼ってんねん	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	o	△	o	o
146	ある家庭内の会話として「お姉ちゃんがお皿洗ってくれたん？」に対する返答として	お姉ちゃんちゃう、お兄ちゃん{ガ/Ø}洗って	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	△	△	o	o
147	ある家庭内の会話として「こないだ白いスープ皿が割れたんやっけ？」に対する返答として	白いスープ皿ちゃう、青いでっかいお皿{ガ/Ø}	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	△	△	△	△
148	ある家庭内の会話として「お父さんがこないだ割ったんって赤い小皿やっけ？」に対する返答として	いや、青い小皿{ヲ/Ø}割ってん。	o ヲ格 x ハダカ △ どちらも可能	x	△	△	x
149	Aさん、Bさん、Cさん、Dさんの4人で旅行に行った際、レンタカーを借りた。運転手はAさん。 数ヶ月後に集まって旅行の話をしていた時「そういえば車って誰が運転してたんやっけ」というBさんの質問に対してのAさんの返答として	私{ガ/Ø}運転してた。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	△	△	△	△
150	上と同じ旅行の際、BさんがUNOを持ってきたのでみんなで遊んだ。 数ヶ月後、旅行の話をしていた時にBさんが「UNOってなんであったんやっけ」とド忘れしていた状況でのAさんの返答として	あんた{ガ/Ø}持ってきたんやん。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	△	o	o	△
151	上と同じ旅行の話を数ヶ月後にCさん不在の状況でAさん、Bさん、Dさんの三人で話している時に買った飲み物の話になり、「誰が飲むヨーグルト買ってたんやっけ」というDさんに対してのAさんの発言として	Cちゃん{ガ/Ø}飲むヨーグルト買ってきてた	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	o	o	△	o
152	AさんとBさんが公園で談笑している。Aさんの家の近所に住む3歳くらいの女の子がAさんのもとに来てどんぐりをAさんの目の前に置いて離れた。 女の子がAさんのもとを訪れた時Bさんは席を外していた。戻ってきたBさんがどんぐりを見て「そのどんぐりどうしたん？」と聞いた際のAさんの答えとして。Aさんはまだ近くにいる女の子の方をさしながら答えたとして	あの子{ガ/Ø}置いて行ったんよ。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	o	o	o	△
153	上と同じ状況で、Aさんの近所の犬が拾った木の枝をAさんの前に置いて離れて行った。戻ってきたBさんが木の枝を見て「その枝さっきあったっけ？」と聞いた際のAさんの答えとして。	あの犬{ガ/Ø}置いて行ったんよ。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	o	o	o	o
154	AさんとBさんで出かけている。その日は雨予報だが合流時Aさんは「今日傘持ってきてへん気がする、カバン入れた記憶ないねん」と話していた。しばらくして雨が降り出した時、「どうする？傘買う？」と尋ねたBさんに対してAさんの答えとして。 傘は当日の朝にAさんのお母さんがAさんのカバンの中に入れていたものとする。	それが傘{ガ/Ø}入っててさ、おかあさんが入	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	△	△	△	x
155	AさんとBさんはAさんの家の前で立ち話をしている。Aさんの家では犬を飼っているが、Bさんはそれを知らない。家の中からケージに犬が当たる音が聞こえたのに対してBさんが「なんの音？」と反応する。これに対するAさんの反応とする。	犬{ガ/Ø}ケージにぶつかってんねん。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	o	o	o	o

156	同上	うちの犬{ガ/Ø}ケージにぶつかってんねん。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	△	△	o	△
157	Aさんの家を訪ねたBさんとの会話。AさんはBさんが来る前に家の掃除をしていたが、その時に棚にぶつかった拍子に棚の上に飾っていた置物が倒れてしまっていた。 置物が倒れていることに気づいたBさんがAさんに「あの置物倒れてるけど大丈夫？」と聞いた際のAさんの返答として。	それさっき私{ガ/Ø}倒してもたんやわ、直す	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	△	△	o	△
158	Aさん、Bさん、Cさんの三人で遊園地遊びに行く予定だったが、当日はAさんの発熱によりそれは1週間延期になった。延期後無事三人で遊ぶことができた。 数年後に三人で話している時、そのとき遊園地に行った話になった。「そういえば最初の予定はなんで延期になったんやっけ？」とAさんが聞いたのに対してBさんが答えたものとして。	あんた{ガ/Ø}熱出したんやん。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	△	o	△	o
159	AさんとBさんの2人でカフェで談笑していると、Bさんからは見えない位置で知らない家族のうちの小さい女の子がコケてしまい、泣き出してしまった。それを聞いたBさんが小さい子のほうを見ながらその家族には聞こえず、Aさんには聞こえるようなほとんど独り言のような感じで「あら〜どうしたんやろ」と言ったのに対してAさんの返答として	あの子{ガ/Ø}コケてもたんよ。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	x	x	x	△
160	ある家庭内での会話として。兄弟のうちの兄がお湯で火傷をしてしまったが、その瞬間には母が二階の掃除に行っていたため、妹が母を呼びに行ったとして。 大声で急いで母を呼びに行ったとして	おかあさん、お兄ちゃん{ガ/Ø}火傷した。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	△	△	△	x
161	ある家庭内での会話として。兄弟のうちの兄がお湯で火傷をしてしまったが、その瞬間には母が二階の掃除に行っていたため、妹が母を呼びに行ったとして。 落ち着いた様子で母を呼びに行ったとして	おかあさん、お兄ちゃん{ガ/Ø}火傷した。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	o	△	△	△
162	夕方に会い、晩御飯を一緒に食べるようになったAさんとBさん。「今日昼何食べた？」というBさんの問いに対してのAさんの反応として	うどん{ヲ/Ø}食べた。	o ヲ格 x ハダカ △ どちらも可能	x	△	x	x
163	上と同じ状況で「昨日の晩は何を食べたん？」というBさんからの問いに対してのAさんの反応として	鴨鍋{ヲ/Ø}食べたで。	o ヲ格 x ハダカ △ どちらも可能	x	△	x	x
164	クラスメイトのAさんとBさんは放課後にまた会う約束をする。何時に合流するかでAさんから元の時間より遅くして欲しいというお願いをするそれに対してBさんが「全然いいよ〜、なんかしなあかんことあんの？」と聞いたのに対してAさんの反応として	塾の宿題{ヲ/Ø}せなあかんねん。	o ヲ格 x ハダカ △ どちらも可能	x	△	x	x
165	BさんはAさんに電話をしてみた。Aさんの家ではAさんと高校生の妹で留守番をしていた。妹は寝ている。「今からマクド行かん？」というBさんにAさんは「行きたいんやけどあと10分したら起こせて言われとんよな」と答えた。Bさんは「兄ちゃん？妹ちゃん？」というBさんに対してのAさんの答えとして	妹、妹{ヲ/Ø}起こしたらすぐ行くわ。	o ヲ格 x ハダカ △ どちらも可能	x	x	x	x
166	上と同じ状況で妹の名前が「ゆう」だった場合	妹、ゆう{ヲ/Ø}起こしたらすぐ行くわ。	o ヲ格 x ハダカ △ どちらも可能	x	x	x	x
167	ママ友のAさんとBさんは談笑をしている。Aさんがパン作りに凝っていた時期があるという話をしていたいつ頃？と聞くBさんにAさんは「保育園に入れてすぐくらいかな…」と言うのでAさんには3人子どもがいるためBさんは「どの子を？」と聞いた。これに対するAさんが後ろの遊び場で遊ぶ末っ子の方を見ながら答えたものとして	あの子{ヲ/Ø}保育園に入れてすぐくらいかな。	o ヲ格 x ハダカ △ どちらも可能	△	o	△	△
168	Aさんが持っている松ぼっくりを見たBさんが「それどうしたん？」と聞いたのに対して、Aさんは犬を飼っている。	この前犬{ヲ/Ø}ドッグラン連れて行ったら持	o ヲ格 x ハダカ △ どちらも可能	△	△	o	△

169	上と同じ状況で、犬の名前がマロンであるとBさんも知っている場合	この前マロン{ヲ/Ø}ドッグラン連れて行った	o ヲ格 x ハダカ △ どちらも可能	△	o	△	o
170	クラスメイトのAさんとBさんは談笑をしている。ふとAさんのところにAさんの母親から電話がかかってき、Aさんは離席した。電話を終えたAさんにBさんが「なんかあったん？」と聞いたものに対するAさんの答えとして 急を要する、焦って答える	お父さん{ガ/Ø}倒れてもた！	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	△	△	△	x
171	クラスメイトのAさんとBさんは談笑をしている。ふとAさんのところにAさんの母親から電話がかかってき、Aさんは離席した。電話を終えたAさんにBさんが「なんかあったん？」と聞いたものに対するAさんの答えとして 落ち着いて事実を述べる形で	お父さん{ガ/Ø}倒れてもた。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	△	△	△	△
172	AさんとBさんの会話の中で車の話になり、Aさんが思い出したように新しい話題として言い始める時	この前車{ヲ/Ø}洗ったんやけど、思ったより	o ヲ格 x ハダカ △ どちらも可能	x	△	x	△
173	AさんとBさんの会話の中でAさんが思い出したように話し始める時	昨日公園でリス{ヲ/Ø}見かけたんやけど、ほ	o ヲ格 x ハダカ △ どちらも可能	x	△	x	△
174	同上	こないだモール行ったらOちゃん{ヲ/Ø}見かい	o ヲ格 x ハダカ △ どちらも可能	x	△	x	△
175	部屋にいるAさんの独り言として	あ、リス{ガ/Ø}走ってる。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	△	△	x	△
176	一緒に部屋にBさんがいる状態で話しかけるとして	あ、リス{ガ/Ø}走ってる。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	△	△	△	o
177	家族での会話として「お父さん昨日の昼何食べてた？」	うどん{ヲ/Ø}食べてたで。	o ヲ格 x ハダカ △ どちらも可能	x	x	x	x
178	家族で大掃除をしていて、担当が決まっている場合の家族の会話で、弟の担当は風呂場。弟が風呂場の近くにいる姉に「お姉ちゃんがお風呂洗ったらええやん」と言った場合の母の回答として	いや、おねえちゃんは洗面所{ヲ/Ø}掃除しな	o ヲ格 x ハダカ △ どちらも可能	△	△	o	x
179	同上	いや、おねえちゃんは洗面所{ヲ/Ø}掃除すん	o ヲ格 x ハダカ △ どちらも可能	x	△	o	x
180	「最近Oちゃん公園おんのみかけへんよね～」という話題を前日していたAさんとBさん。その日、Bさんが公園の横を通りかかった時にOさんを見掛けた。 次の日、学校でAさんと会ったBさんの発言として	そういえば昨日Oちゃん{ガ/Ø}公園で遊んど	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	o	△	△	o
181	Bさんは、会話前日にOさんの家に電話をかけたが、電話は繋がらなかった。そのことは次に電話をかけたAさんに話していた。次の日、学校でOさんに会ったBさんは、Oさんがその時公園で遊んでいたことを知る。その後BさんはAさんに会ったのでこれを伝える際の発言として	昨日の電話、Oちゃん{ガ/Ø}公園で遊んどっ	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能"	△	△	△	o
182	クラスの学活の時間でケードロをしていた。続々と泥棒が警察に捕まる中、終盤になり、花子だけがまだ捕まっていなかった。警察同士の会話として「誰がまだ逃げとん？」の答えとして	花子{ガ/Ø}まだ逃げとる。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	x	x	o	△

183	AさんとBさんで話をしていると、Bさんが走っていく人に挨拶をしていた。それを見たAさんが聞いた「誰が走ったん？」に対するBさんの返事として	お兄ちゃん{ガ/Ø}走ったんよ。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	o	o	o	o
184	服についたシミを見て「なにこぼしたんこれ？」	お茶{ガ/Ø}こぼれてもた。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	x	x	x	x
185	「あそこってなんか花咲いとったよな？何の花が咲いとったんやっけ？」	毎年チューリップ{ガ/Ø}咲いとったで。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	△	△	x	x
186	Aさんが春頃家の庭に植えていた種の話をしている。Aさんはマリーゴールドを植えたと思っており、Bさんにもそう伝えていた。「こないだ植えた花が咲いたんやけどさ」と話し始めるAさんに対してBさんは「マリーゴールドが咲いたん？」と聞いた。これに対するAさんの返答として	いや、ペチュニア{ガ/Ø}咲いてんよ！	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	o	o	o	o
187	空き地を見て「あそこってなにがあったんやっけ？」	毎年ひまわり{ガ/Ø}咲いとったんよ。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	△	o	x	△
188	「あ！」というAさんに対して「なんかあったん？」と聞くBさん。それに対するAさんは溶け落ちたアイスを指差しながら	アイス{ガ/Ø}落ちてても食べれんくなっても	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	x	△	x	x
189	Aさんの弟が話している声を聞いたBさんがAさんに「今喋ったんってお兄ちゃん？」と聞いた際のAさんの返答として	いや、今は弟{ガ/Ø}喋ったで。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	o	o	o	o
190	マラソン大会を見ているときのAさんとBさんの会話として「1位で走っとるんってDちゃん？」という目の悪いAさんに対するBさんの返答として	Cちゃん{ガ/Ø}1位で走っとるで。	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	o	△	△	o
191	Aさんがちょうど側溝に入ろうとしているところにBさんが通りかかり「なにしてんの？」と聞いた際のAさんの返答として	うちの犬{ガ/Ø}溝に落ちてもたから取り上げ	o ガ格 x ハダカ △ どちらも可能	o	o	o	o